

## 本文の展開

【第1段落】 怒り=誰もが経験する自然な感情

【第2段落】 さらに  
怒り=行動を起こすための原動力 ←第1段落の内容を補足【第3段落】 私たちはふだん、怒りをこのようなものとして考えていない  
↳「怒り=抑えなければならぬ感情」だと考えている

【第4段落】 ↳ (理由) 怒りを表に出すと、様々な問題を引き起こすから

【第5段落】 怒りを理解し、静める解決策について  
↳ どの解決策であれ、解決しようとする姿勢が大切

## 解答

問1 ウ

問2 悪を正し、物事をよくするためになされるべきこと (23字)

問3 ウ 問4 怒りは抑えなければいけないもの (15字)

問5 イ 問6 ア 問7 イ 問8 イ, エ

## 設問解説

問1 **TIP** 〈無生物主語 + V + 人 + to do〉は「Sによって《人》は～する」と訳す

選択肢の訳 ア. 怒りは人によって異なる。 イ. 常に怒っている人は積極的な人と呼ばれる。 ウ. 時として、怒りによって人はよいことをする場合がある。 エ. 怒りは積極的な行為だとみなされる。

解説 〈S + motivate + 人 + to do〉は「Sは《人》に～するようやる気を与える」という意味だが、motivateがわからなくても、〈無生物主語 + V + 人 + to do〉の文は「Sによって《人》は～する」と意味がとれることを知っていればよい。したがって、下線部(1)は「怒りによって人は積極的で(人々の記憶に残るような)すばらしい行動をする場合がある」となる。

Anger can motivate individuals to do positive acts.  
無生物主語 V 人positive  
and  
memorable問2 **TIP** 関係代名詞のあとは「不完全な文」が続く**TIP** and や or は文法的に対等なものを結ぶ

解説 関係代名詞 what のあとは「不完全な文」がくる (needs to be ... の主語が欠けていることに注目)。what needs to be done 「される必要があること [なされるべきこと]」は、かたまりで can do の目的語になっている。or は動詞 correct と動詞 make を結んでいる。

before we can do what needs to be done / to correct wrongs  
接続詞 S V O V' O'  
or  
(to) make things better.  
V' O' C'問3 **TIP** 〈it is + 形容詞 + (for ~) + to do〉は形式主語構文

選択肢の訳 ア. 怒りを経験すること イ. 過剰な怒り ウ. 怒りを表すこと エ. 抑制されない怒り

解説 この it は to show it を指す形式主語なので、「それを表すことはたいてい不適切である」となる。一方、show の目的語である it は anger 「怒り」を指しているの、正解は show の同義語 express 「～を表す」を用いた to express anger 「怒りを表すこと」となる。

it is usually inappropriate to show it  
形式主語 真主語問4 **TIP** 代名詞が指す内容は前から探す

解説 We learn this for a good reason. 「私たちは正当な理由があって、このことを学ぶ」の this は、前文にもある同じ learn の目的語 (that anger is something that must be controlled 「怒りは抑えなければいけないものということ」) を指している。

問5 **TIP** lead to ~ は因果関係を表す

解説 uncontrolled anger can lead to fights, ... problems. の lead to は、因果関係を表す動詞句で、〈原因 + 動詞 + 結果〉の形をとり、「SがOを引き起こす [SがOにつながる]、Sが原因でOという結果が生じる」という意味を表す。したがって、下線部(5) uncontrolled anger 「抑制されない怒り」が原因で生じる結果として lead to 以下に書かれていないのは、イ. 「深刻な健康問題」である。

〈原因 + 動詞 + 結果〉の形をとる動詞には、lead to のほか cause, result in, bring about, give rise to などがある。

uncontrolled anger can lead to fights.  
S (原因) V car accidents.

bad relationships with others.  
unacceptable social behavior.  
and  
many other problems.

O (結果)

「抑制されない怒りが原因で、争いや交通事故、他者との悪い関係、受け入れがたい社会的行動などの多くの問題が生じる場合がある。」

問6 TIP 句動詞は分解してそれぞれの意味を考える

選択肢の訳: ア. 隠す イ. 言い表す ウ. 伝える エ. 言い表す

解説 下線部(6)の hold in は「(感情など)を抑える」という意味だが、その意味を知らなくとも、hold「(ある状態・位置に)～を保つ」と in「中に、内に」に分解して考えれば、holds his anger in は「(自分の)内に怒りを保つ」と訳すことができる。したがって、ア. conceal「～を隠す」が近い意味の語である。

問7 TIP 文の骨格である〈主語+動詞〉を見抜く

選択肢の訳: ア. これらの解決策はどれもうまくいくだろう。しかし、1つだけではおそらく十分ではない。

イ. 怒りの問題を解決するための方法を探すことは、最初にとるべき行動である。

ウ. 誰もが最初の段階として選ばなければならない優れた解決策が1つある。

エ. ある方向へ歩いて移動することは怒りの問題を解決するための良い方法である。

解説 文構造が複雑な文は、副詞節や〈前置詞+名詞〉のかたまりを( )でくくるなどして、まずは文の骨格であるSVを見抜くこと。〈whatever + 名詞〉 (= no matter what ~) のかたまりが副詞の働きをするとき、「たとえどんな…を [が] ~しても」と「譲歩」の意味で訳す。it は形式主語、to know 以下が真主語である (it = to know ... の関係)。

下線部(7)の趣旨は、「どんな解決策を選んだとしても、怒りの問題を解決しようとすることで、怒りの問題解決への第1歩は踏み出せている」というものなので、イ。「怒りの問題を解決するための方法を探すことは、最初にとるべき行動である。」が最も合う。

Whatever solution one chooses,

副詞節 どの解決策を選んだとしても

it is good to know that ..., the first step ... has been taken.

形式主語 ----- 真主語

「たとえどんな解決策を選んだとしても、第1歩は踏み出せたのだということを知っておくのはよいことである。」

問8 TIP 本文の言い換え表現に注意

選択肢の訳: ア. 私たちは積極的な行動をとるべきだ。もしそうしなければ人を怒らせてしまうだろうから。

イ. ひどく腹を立てる子供は時として罰を受ける。

ウ. 怒りをうまく抑えることに関して大人よりも子供のほうが優れている。

エ. もし怒りを抑えることができなければ、私たちは互いに殴り合ったり、口論したりするかもしれない。

オ. 精神のおよび身体的な健康問題を抱えた人は怒りを抑えることができる。

カ. 怒りの問題を解決する方法は6つだけである。

解説: ア. 第2段落第2文で、怒りは positive acts「積極的な行動」につながる場合があると述べている。しかし、「人を怒らせないために積極的な行動をとるべきだ」という記述は本文にないため、不一致。

イ. 第3段落第2文で、Children are sometimes ... punished for expressing anger in an excessive way. 「子供は時として、過剰に怒りを表したことが理由で罰を受けることがある」と述べているので、一致している。expressing ... excessive way の箇所が、選択肢中では get very angry「ひどく腹を立てる」と言い換えられている。

ウ. 怒りを抑えることに関して大人よりも子供のほうが優れているという記述は本文にないので、不一致。

エ. 第4段落第1文に、怒りを抑えないことが原因で、争いや他者との悪い関係などの問題が生じると述べられているので、一致する。本文中の fights「争い」が、選択肢中では hit each other「殴り合う」と have a quarrel「口論する」に言い換えられている。

オ. 第4段落第2文に、「怒りを表に出さないことが原因で、精神のおよび身体的な健康問題を引き起こす場合がある」と述べられている。しかし、精神のおよび身体的な健康問題を抱えた人が怒りを抑えることができるかどうかの記述は本文にないので、不一致。

カ. 第5段落第1～2文の内容から、怒りの問題を解決する方法は only six「6つだけ」ではなく、たくさんあることがわかるため、不一致。

【第1段落】

文構造

ℓ. 1 Anger is a natural emotion that everyone experiences in life.



「怒りは人生で誰もが経験する自然な感情である。」

解説 名詞 emotion「感情」の直後にある **that** は、後ろに不完全な文（動詞 experience「～を経験する」の目的語が抜けている）が続いているので、**関係代名詞**である。

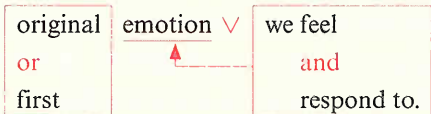
ℓ. 2-3 the first sound ∨ a baby makes ... could be a sign of anger



「赤ん坊が発する最初の声 [赤ん坊が初めて発する声] は、怒りの表れかもしれない。」

解説 the first sound a baby makes の部分は、〈名詞 + S + V〉の構造なので、S + V の前に関係代名詞が省略されている。make a sound「音を立てる、声を発する」

ℓ. 3-4 Anger may be the original emotion ∨ we feel  
 or first and respond to.



「怒りは、私たちが感じて反応する、原始的、あるいは最初の感情なのかもしれない。」

解説 and や or は 〈A and [or] B〉の形で、対等の品詞を結ぶ。ここでの or は形容詞 original「生まれながらに持っている」と first「最初の」を結び、and は動詞 feel「感じる」と respond to「～に反応する」を結んでいる。emotion we feel and respond to の部分は、〈名詞 (feel と respond to の目的語に当たる) + S + V〉の構造なので、S + V の前に目的格の関係代名詞が省略されている。

語句・表現

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| anger : 怒り          | respond to ~ : ~に反応する  |
| emotion : 感情        | hunger : 飢え            |
| experience : ~を経験する | thirst : 渇き            |
| researcher : 研究者    | desire : 欲求, 願望        |
| sign : 兆候, 現れ       | describable : 言葉で言い表せる |

【第2段落】

文構造

ℓ. 6-7 Not only is anger a natural emotion.



it is ... a perfectly healthy emotion.



「怒りは、単に自然な感情というだけではなく、それ (= 怒り) は多くの場合、完全に健康的な感情である。」

解説 否定の副詞(句・節)を強調のために文頭に置くことがある。その場合、否定の副詞の後には、疑問文の語順になることがあるので注意が必要。

語句・表現

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| case : 場合                | injustice : 不正                         |
| perfectly : 完璧に          | evil : 悪                               |
| motivate : ~にやる気を与える     | need to do : ~する必要がある                  |
| individual : 個人          | correct : ~を正す                         |
| positive : 積極的な, 好ましい    | thing : (things で) 物事, 状況              |
| memorable : (記憶に残るほど)    | make ~ better : ~をよりよくする               |
| すばらしい                    | that is how + S + V : そのようにして S は V する |
| act : 行い                 | think of ~ : ~について考える                  |
| be angry at ~ : ~に怒りを感じる |  |

【第3段落】

文構造

ℓ. 12-13 Most people think of anger as an emotion ∨ we must keep under control.



「大部分の人は、怒りは抑えなければならない感情だと考えている。」

解説 think of A as B, regard A as B, look on A as B, see A as B など、〈V + A + as + B〉の形は「A を B とみなす [思う]」と訳す。

語句・表現

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| keep ~ under control : ~を抑えておく, ~を制御する | excessive : 過剰な                      |
| send ~ to ... : ~を…に送る                 | tell + 人 + to do : (人) に~するよ<br>うに言う |
| punish ~ for ... : …を理由に~を罰する          | get control of ~ : ~を抑える             |
| express : ~を表す                         | inappropriate : 不適切な                 |
| in ~ way : ~な仕方                        | control : ~を抑える                      |
|  | suffer : ~に直面する                      |

negative : 形 悪い  
consequence : 名 結果

【第4段落】

語句・表現

uncontrolled : 形 抑制されていない  
S + lead to + O : SがOを引き起こす, Sが原因でOという結果になる  
fight : 名 争い  
relationship : 名 関係  
others : 代 他者 (= other people)  
unacceptable : 形 受け入れがたい  
social : 形 社会的な

【第5段落】

文構造

Ex. 28 someone ∨ you trust who is a good friend

「あなたが信頼していて (なおかつ) よき友人である誰か」

解説 〈先行詞 + S + V + who [which] (+ S) + V〉の形は, 前の関係詞節 (that you trust) が限定したものを後ろの関係詞節 (who ... friend) がさらに限定する形である。

語句・表現

offer : 動 ~を提示する  
solution (to ~) : 名 (~に対する) 解決策  
harmful : 形 有害な  
include : 動 ~を含む  
verbalize about ~ : ~について言葉で表す  
trust : 動 ~を信頼する  
leave : 動 ~から離れる  
situation : 名 状況  
cause : 動 ~を引き起こす

for a good reason : 正当な理由で

behavior : 名 行動  
expert : 名 専門家  
hold ~ in : (感情など) を抑える, 表に出さない  
severe : 形 深刻な  
mental : 形 精神的な  
physical : 形 身体的な  
calm : 動 ~を静める  
call A B : AをBと呼ぶ

beat on ~ : ~をたたく  
pillow : 名 枕  
exercise : 動 運動をする  
daily life : 日常生活  
therapy : 名 セラピー  
medication : 名 薬 (の服用)  
method : 名 方法  
whatever + 名詞 + S + V : たとえどんな...を~しても, たとえどんな...が~しても  
choose : 動 ~を選ぶ

by doing : ~することによって  
try to do : ~しようとする  
take a step : 1歩進む  
right : 形 正しい

direction (to ~) : 名 (~へ) の方向  
solve : 動 ~を解決する

全文訳

怒りは誰もが人生で経験する自然な感情である。赤ん坊が生まれたとき初めて発する声は、怒りの表れだと考える研究者もいる。怒りは、私たちが感じて反応する原始的な、あるいは最初の感情なのかもしれない。想像してごらん下さい。飢え、渇き、愛情、願望、あるいはその他の言葉で言い表せるあらゆる感情の前に、私たちは怒りを経験しているのかもしれない。

怒りは単に自然の感情というだけではない。それは多くの場合、完全に健康的な感情である。怒りによって、人は積極的で (人々の記憶に残るような) すばらしい行動を起こす気になることがある。時として私たちは不正や悪、自然に対してまで怒りを感じてはじめて、悪を正し、物事をよくするためになすべきことを行う。しかし、もちろん、私たちは普通そういうふうにして怒りについて考えていない。

大部分の人は、怒りを抑えておかなければならない感情だと考えている。子供たちは時に、怒りを過剰に表したことが理由で、(反省のため) 自分の部屋に行かされたり、罰を受けたりする。親は子供が怒りを表すと、自分を「抑える」よう指示する。私たちは友人に対してや職場で怒りを感じるかもしれないが、それ (= 怒り) を表すことはたいていの場合、不適切であることを知っている。私たちは怒りを抑えなければならない。さもないと、(怒りを抑えないことで生じる) 好ましくない結果に直面しなければならない。私たちは人生の非常に早い段階で、怒りは抑えなければならない感情だと学ぶ。私たちは正当な理由があって、このことを学ぶ。

私たちは、抑えられない怒りが原因で、争いや交通事故、他者との悪い関係、受け入れがたい社会的行動などの多くの問題が生じる場合があるということを知っている。もし怒りを表に出さないと、それが原因で深刻な精神的および身体的な健康問題を引き起こす場合があると、多くの専門家は指摘している。私たちが怒りと呼んでいるこの自然な感情を理解し、静めるために何ができるだろうか。

専門家は過剰で有害な怒りに対する解決策をいろいろと提示している。これらの解決策の中には、信頼していて良き友人である誰かに対して、怒りを引き起こす出来事について言葉にしたり話したりすること、怒りを引き起こす状況から離れること、枕をたたくこと、日常生活でもっと運動すること、セラピー、薬を飲

むことなどのさまざまな方法が含まれている。どんな解決策を選んだとしても、怒りの問題に対して解決策を見つけようとすることで、怒りの問題を解決する正しい方向への第1歩は踏み出せているということを知っておくのはよいことである。

## 本文の展開

【第1段落】 アメリカ人の一般的な考え：富は一生懸命働くことで得られるもの

↓  
大半のアメリカ人の現状：富を得たり、維持したりするのに苦労している

→さまざまな請求を支払うのに必死で、家計は破産寸前

【第2段落】 現代の共働き家庭の収入 > 一世代前の単一収入家庭の収入

疑問：なぜ、家計は破産寸前なのか？

理由1：住宅ローン、車代、税金、健康保険、保育費などを支払うと、自由に使えるお金や貯金するお金がない

理由2：医療や健康保険の高騰→家計を圧迫

理由3：住居費の高騰にもかかわらず、家を持つ夢をあきらめられない

理由4：製造業の衰退と共に大学教育が重要になるも、学費は高騰

## 解答

問1 一生懸命働いて富を得ること (13字) [まじめに働けば富が得られるということ (18字)]

問2 エ

問3 彼らの夫婦合算の世帯収入は、一世代前の1人の収入で暮らす家庭の収入よりもずっと多い。

問4 (3) ア (4) エ 問5 ア 問6 イ, エ

## 設問解説

問1 TIP that is (to say) の前後はイコールの関係になる

解説 the American Dream, that is, to achieve wealth through hard work, の that is (to say) 「すなわち、つまり」は、前の発言をより具体的に述べるときに用いる表現。したがって、the American Dream の具体的な内容は、to achieve ~ work 「一生懸命働いて富を得ること」である。

問2 TIP 空所補充問題は前後の文脈に着目する

選択肢の訳 ア. 経済的な問題がない イ. 仕事を探して ウ. 自分たちの現状に満足して エ. 経済的なストレスを受けて

解説 空所 ( ① ) を含む文の前では、アメリカの多くの人が富の獲得